

「地域福祉に関する市民意識調査」のお願い

皆さまには、日頃から福祉行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、刈谷市と刈谷市社会福祉協議会では、地域住民・ボランティア・NPO法人・サービス事業者・福祉関係団体などと協力して、障害の有無や年齢などにかかわらず、家庭や地域の中で安心した生活が送れるように、地域福祉を推進しています。

このたび、地域の福祉課題や今後の刈谷市の地域福祉の推進方向など、皆さまからのご意見をお聞きするアンケート調査を実施して、「第5次刈谷市地域福祉計画」の策定に活用したいと考えています。

この調査は、自治会長、民生委員・児童委員の皆さまを対象に実施しています。回答は無記名であり、集計結果は公表させていただきますが、個人が特定されることはありません。ぜひ、皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年10月

刈谷市長 稲垣 武
刈谷市社会福祉協議会会長 杉浦 芳一

回答期限 令和5年〇〇月〇〇日（〇）

《ご回答にあたって》

- この調査票は、ご自分のお考えでご記入ください。
- 令和5年10月1日現在の内容でご記入ください。
- お答えは、質問のあてはまる番号に〇をつけてください。
- お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）に具体的に書いてください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、回答期限までに投函してください（切手不要）。
- この調査票での回答のほか、Web 回答も可能です。右の二次元コード
又は下記 URL から Web ページにアクセスしご回答ください。
(ダミー)
Web 回答をされた場合は、調査票の返送は不要です。



二次元コード

▼ 問い合わせ先

刈谷市役所 福祉総務課 総務係
担当 川井・金原

TEL：0566-62-1012

FAX：0566-24-3481

電子メール：fukusou@city.kariya.lg.jp

刈谷市社会福祉協議会 総務課
担当 磯村・鮎澤

TEL：0566-29-0888

FAX：0566-27-0678

電子メール：soumu@kariyashi.jp

はじめにお読みください・・・

地域福祉とは…？

みなさんは、「福祉」という言葉から何を思い浮かべますか？

高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉などといった対象者ごとにわかれた「行政などによるサービスの提供」という「福祉」を思いつくのではないのでしょうか？

しかし、本来の「福祉」という言葉の意味は、「しあわせ」なのです。

私たちの住んでいる地域を見渡すと、ひとり暮らしのお年寄り、子育てに悩む親、障害のある人、病気の人など、不安を感じながら暮らしている人、また何らかの支援を必要としている人がたくさんいますが、誰もがみんな「地域で幸せに暮らしたい」と願っています。

そして、私たちの住んでいる地域が「幸せな地域」になるためには、行政などによるサービスだけでは手の届きにくい部分（見守りやちょっとした助けなど）を、皆さまがお互いに助け合い、支え合っていくことが大切です。

このように、

誰もが幸せに暮らせる地域であるために、皆さま一人ひとりがお住まいの地域にある困りごとを「自分のこと」としてとらえ、「幸せづくりの担い手」となって、みんなで支え合うことが「地域福祉」なのです。



A あなたの回答区分や年齢、活動期間などについておたずねします

問1 回答区分をお答えください。

- | | |
|--------|-------------|
| 1 自治会長 | 2 民生委員・児童委員 |
|--------|-------------|

問2 あなたの年齢は、令和5年10月1日現在、次のどれですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------|---------|
| 1 39歳以下 | 4 60歳代 |
| 2 40歳代 | 5 70歳以上 |
| 3 50歳代 | |

問3 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問4 あなたの居住地(地区別)は次のどれですか。(〇は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 北部地区(井ヶ谷、東境、西境、今川、今岡、一里山、一ツ木、泉田、築地) |
| 2 中部地区(刈谷西部、刈谷中部、刈谷東部、元刈谷、熊、高津波、小山、重原、桜) |
| 3 南部地区(小垣江、高須、半城土、野田、東刈谷) |

B 地域についておたずねします

問5 あなたの住んでいる地域は、住民同士による助け合いや支え合いが行われるなど、地域のつながりが強いと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 強い | 4 どちらかという弱い |
| 2 どちらかという強い | 5 弱い |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問6 あなたご自身が活動をする中で抱えている課題は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 相談をしてきた人との関わり方が難しい | 6 他の団体・組織との連携がうまくいかない |
| 2 個人情報の保護により行政から活動に必要な情報が得られない | 7 活動が忙しすぎる |
| 3 行政や社会福祉協議会のどこにつないだら良
いか、分からないことがある | 8 後継者がいない |
| 4 複数の活動を抱えており、調整が困難である | 9 特にな |
| 5 担当する地域の各世帯の把握が困難である | 10 その他
(具体的に) |

問7 あなたが活動されている地区で、以下の様な人を見聞きしたことがありますか。

(○はいくつでも)

1 引きこもり	9 老老介護・認認介護 (老老介護は高齢者の介護を高齢者が行うこと。認認介護は高齢の認知症患者の介護を認知症である高齢の家族が行うこと)
2 ニート (仕事に就いておらず、家事も通学もしていない若者)	10 生活困窮者・家庭 (病気や障害などにより経済的に生活のしづらさを抱えている人)
3 8050問題 (80代の親が収入のない50代の子どもの生活を支える問題)	11 子どもの貧困
4 認知症の人	12 高齢者や障害のある人への虐待
5 支援が必要な単身高齢者	13 子どもへの虐待
6 支援が必要な障害のある人	14 DV(配偶者等からの暴力)
7 ヤングケアラー (家族の介護をする18歳未満の子ども)	15 見聞きしたことはない
8 ダブルケア (子育てと家族の介護など複数のケアに携わる人)	16 その他(具体的に)

問8 今後、支援が必要な人に対して、地域での支え合いをより活性化していくために、特に必要なことは次のうちどれだと思いますか。(○はいくつでも)

1 新たな担い手を育成していく	7 他の自治会長、民生委員・児童委員との交流を活発にしていく
2 行政との連携を深める	8 他のボランティア・NPOとの交流や協働の機会を増やす
3 社会福祉協議会との連携を深める	9 その他 (具体的に)
4 地区社会福祉協議会や福祉委員会の立ち上げや活動の充実	
5 地域住民に活動内容を知ってもらう	
6 専門的な研修・勉強会などの機会を増やす	

問9 あなたの住んでいる地域や周辺的环境についてどう思いますか。(各項目○は1つずつ)

	そう思う	まあまあ思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①あいさつや世間話をするなど近隣関係は良好である	1	2	3	4	5
②子どもから高齢者まで住民間の交流は活発である	1	2	3	4	5
③地域の活動に参加しやすい雰囲気がある	1	2	3	4	5
④手助けや見守りが必要な人がご近所に少ない	1	2	3	4	5
⑤地域での助け合いに関心のある人が多い	1	2	3	4	5
⑥住民が気軽に集える場所がある	1	2	3	4	5
⑦高齢者や障害のある人の利用に配慮されている施設がある	1	2	3	4	5
⑧買い物・通院などの移動手段が整っている	1	2	3	4	5
⑨地震・風水害などに対する防災体制が十分である	1	2	3	4	5
⑩防犯・交通安全対策が十分である	1	2	3	4	5

C 他団体との連携についておたずねします

問10 あなたは、地域での活動の際に、どのような団体などと連携して活動されていますか。
(○はいくつでも)

1 自治会	10 医療施設	19 更生保護団体
2 公民館	11 社会福祉協議会	20 赤十字奉仕団
3 いきいきクラブ(老人クラブ)	12 地区社会福祉協議会	21 自主防災組織
4 女性の会	13 福祉委員会	22 警察・消防
5 子ども会	14 保育園・乳児園・幼稚園	23 特にない
6 ボランティア団体	15 小・中学校、高校、大学	24 その他
7 NPO法人	16 地域包括支援センター	()
8 高齢者施設	17 子育て支援センター	
9 障害者施設	18 民生委員・児童委員	(→23の方は問12へ)

問11 他の団体などと連携して行っている活動は、どのような活動ですか。(○はいくつでも)

1 子育ての相談、保護者の交流支援	
2 子どもの遊び、野外活動	
3 子どもの居場所づくり	
4 高齢者の安否確認、話し相手、手紙など	
5 高齢者の居場所づくり	
6 高齢者や障害のある人などへの生活支援	
7 点訳・朗読、手話通訳などのコミュニケーション支援	
8 高齢者や障害のある人へのレクリエーション・スポーツ活動の支援	
9 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支えるための啓発活動	
10 福祉施設への訪問活動	
11 福祉施設での作業補助	
12 福祉イベントなどを通じた交流活動	
13 ひとり親家庭・生活困窮世帯への訪問	
14 地域への施設開放	
15 その他 ()	

問12 今後活動を行う中で連携したい組織や団体はありますか。

1 ある →問13へ	
2 特にない →問15へ	

問13 これから連携をしたい組織や団体はどこですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|------------------|--------------------|-----------|
| 1 自治会 | 10 医療施設 | 19 更生保護団体 |
| 2 公民館 | 11 社会福祉協議会 | 20 赤十字奉仕団 |
| 3 いきいきクラブ(老人クラブ) | 12 地区社会福祉協議会 | 21 自主防災組織 |
| 4 女性の会 | 13 福祉委員会 | 22 警察・消防 |
| 5 子ども会 | 14 保育園・乳児園・幼児園 | 23 その他 |
| 6 ボランティア団体 | 15 小・中学校、高校、大学 () | |
| 7 NPO法人 | 16 地域包括支援センター | |
| 8 高齢者施設 | 17 子育て支援センター | |
| 9 障害者施設 | 18 民生委員・児童委員 | |

問13の回答について、なぜその組織や団体と連携をしたいと思いますか。選択した番号と連携したい内容を記入してください。

記入例：「6 子どもの居場所づくりを共に進めたい」

問14 他の組織・団体と連携しようとするうえで困っていることがあれば教えてください。

D その他

問15 みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、必要だと思う取り組み、見聞きしたことがある取り組み、今後あなたが取り組んでみたいことなどあれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。